



学 生 団 体
京都大学新聞社
京都市左京区吉田東大町内
(781) 2054 販 送
(781) 2111 (内線2571)
FAX (781) 8095
編集・京都2-3909
1部 100円

総合事務機
オース機器
事務用品
株式会社
中村太洋堂
〒780 京都府京都市中京区
西大路一丁目1番10号
TEL 075-751-0001

日本的なるものをめぐって

▶2・3面 座談会

市民運動・日常生活の中からの新しい
生活へ向けてのさまざまな取り組み

出席者——佐伯昌和氏
平野広朗氏
根津幸彦氏

▶4・5面 反原発運動を考える

—国家意思と衝突しうる「私的個人」へ—

編集部

▶6・7面 座談会

国際連帯 そして日本

出席者——太田昌国氏
西浜楯和氏
神野明氏

▶8・9面 座談会

治安弾圧を支える民衆の意識構造
—新たな対抗軸を模索して—

出席者——伊藤公雄氏
奥野路介氏
杉村昌昭氏
寄稿・中北龍太郎氏

▶10・11面 特集 影なき日本の影

「差別排除されてきた人々」と共同作業を

寄稿——松田修氏
富山一郎氏
ルポ——編集部

▶12面 寄稿

「戦後民主主義」とわれわれの「いま」

池田浩士氏

▼HINE, Lewis W./News Boy 1907-1913



創刊2000号特別編集

特集の意図
本誌創刊以来、社会の動きや市民運動の発展を捉え、その背景や意義を掘り下げた記事が多く見られた。今回の特集は、戦後民主主義の形成とその後の変遷を、個人の視点から探ることに意図を込めた。『影なき日本の影』は、戦時体制下の差別と戦後の復讐を軸に、これまで見過ごされてきた人々の苦闘と奮闘を描き出す。『戦後民主主義』は、戦後民主主義の理想と現実の乖離を、池田浩士氏が鋭く指摘する。また、『反原発運動』や『国際連帯』は、現代社会の課題と市民の意識の構造を、対談形式を通じて明らかにしようとする。本誌の歴史を振り返り、新たな対抗軸を模索する意図が込められている。

口笛と軍靴——天皇制ファシズムの相貌

京都大学新聞社編
社会評論社刊

カフェーの中で
彼らの口笛が空気を震わせた時
かすかに軍靴の音は響いていた——
1920、30年代に立体的に問いかけ
僕らの時代を浮き彫りにする
現在からの〈戦前を疑う〉

京都大学新聞社でも2,000円(送料込2,300円)で
販売しています。問い合わせは当社まで。

関西文学

雑誌にこだわらず広く読者の関心をめざしています
月刊同人雑誌 通巻294号(価 550円 ¥50円)
9月号 発売中

巻頭 若き三島由紀夫と富士正晴 / 松本 徹
文芸時評 小川和祐 時評 明珍 界 信
同人誌時評 水口洋治 社会時評 清水 信
小説 晴い浜辺で / 水沼圭介
形式 / 読者人
評論 『個人』の物語化 / 村上春樹論 / 沢村 謙
時評 源氏物語(藤原) / 井やりの水 / 池 / 中井和子
川 渡春香、三浦玲子
出稿
米山俊直 文学散歩 宮村順平
野村 山本一雄、谷かずえ、牧川史郎ほか
第24回関西文学賞作品公募中。

登録料3,000円。会費1年6,600円(誌代とも)
基本誌と入金書内(ご希望の方は追加送料別添付も)
送料・郵便切手7割。同人誌名は別定となります。

関西文学の会・関西書院
544大阪市生野区林寺2丁目20-1(振替大阪)
電話大阪(06)714-5946(5-24838)

時事通信社

内なる外国『菊と刀』再考
タカシ・ミナミ 加地水都子訳
異文化を理解するたのめを問う。『菊と刀』とは? 外国とは?
●定価1,300円(税別)
●送料100円(税別)
●発行所 時事通信社
●発行所 時事通信社
●発行所 時事通信社

東京千代田区日比谷公園1-3 千100
電話(03)591-1111 編集東京4-8500

表現主義論争

池田浩士編・訳・解説
『表現主義論争』は、戦後民主主義の形成とその後の変遷を、個人の視点から探ることに意図を込めた。本誌の歴史を振り返り、新たな対抗軸を模索する意図が込められている。

秋山基夫詩集 窓 ●A5 定価1,600円
れんが書房新社
東京都新宿区三軒町10日興四号 コーポ 電話 03-358-7531

1、「反原発」からつな がるものをめぐって

「反原発」運動は、その本質からいって、環境運動、社会運動、市民運動、あるいは政治運動である。それは、単に原子力発電の危険性を訴えることにとどまらず、社会のありかた、政治のありかた、生活のありかたを問うものである。この意味で、「反原発」運動は、社会運動の中心をなしている。そして、この社会運動の中心をなしている「反原発」運動は、社会運動の中心をなしている。そして、この社会運動の中心をなしている「反原発」運動は、社会運動の中心をなしている。

2、日常の中の 運動のありよう

「反原発」運動は、日常の中の運動である。それは、単に原子力発電の危険性を訴えることにとどまらず、社会のありかた、政治のありかた、生活のありかたを問うものである。この意味で、「反原発」運動は、社会運動の中心をなしている。そして、この社会運動の中心をなしている「反原発」運動は、社会運動の中心をなしている。

生活の中の天皇制

天皇制は、生活の中の存在である。それは、単に天皇の存在にとどまらず、社会のありかた、政治のありかた、生活のありかたを問うものである。この意味で、「天皇制」は、社会運動の中心をなしている。そして、この社会運動の中心をなしている「天皇制」は、社会運動の中心をなしている。

3、運動の内部で「切 り捨て」はないか

運動の内部で「切り捨て」はないか。これは、運動のありかた、政治のありかた、生活のありかたを問うものである。この意味で、「切り捨て」は、社会運動の中心をなしている。そして、この社会運動の中心をなしている「切り捨て」は、社会運動の中心をなしている。

身近な場所から「よい関係」を

身近な場所から「よい関係」を。これは、運動のありかた、政治のありかた、生活のありかたを問うものである。この意味で、「よい関係」は、社会運動の中心をなしている。そして、この社会運動の中心をなしている「よい関係」は、社会運動の中心をなしている。

反原発運動と「障害者」問題

反原発運動と「障害者」問題。これは、運動のありかた、政治のありかた、生活のありかたを問うものである。この意味で、「障害者」問題は、社会運動の中心をなしている。そして、この社会運動の中心をなしている「障害者」問題は、社会運動の中心をなしている。

向けての な取り組み

「反原発」運動は、社会運動の中心をなしている。そして、この社会運動の中心をなしている「反原発」運動は、社会運動の中心をなしている。



（ひらのひろあき）1955・1・31生まれ。
愛知県出身。
大阪ゲイ・コミュニティ（OGC）代
表。月に1回程度集まりを持ち、ゲイとし
て生きていく上での自分たちの関心や問題
を話し合ったりしている。ミーティングで
は、エイズ問題・ゲイと精神医療・ゲイと
宗教・ゲイのセクシュアリティなどにつ
いて考えて来た。今年3月の「女のフェ
スティバル」に参加して、ゲイの解放運動
とフェミニズムとの関わりについて討論会
を開いた。7月10日にはエイズ法に反対
するデモをフェミニストらとともに大阪で
行った。



（佐伯まさ彦）1955・4・8生まれ。
京都府出身。
京都反原発めだかの学校の会員。月2回の
学習会や講演会、核燃料輸送の監視活動など
を行っている。12月の原発がある福井県での
運動や住民との交流、京都府下の原発予定地
である久美浜町での原発反対運動、そして京
都市内での反原子力の日（10月26日）やチ
ェルノブイリ事故周年の集会、デモ等に取
組んでいる。全国の反原発の住民運動・市民
運動・労働組合で組織する反原発運動全国連
絡会が1月10日発行する「反原発新聞」の京
都支局としてその発行にも関わる。今年4月23
・24日の東京「2万人行動」では事務局次長
を務めた。

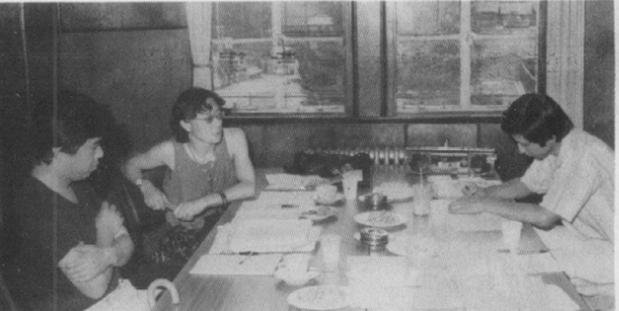
平野広朗

佐伯昌和

根津幸彦

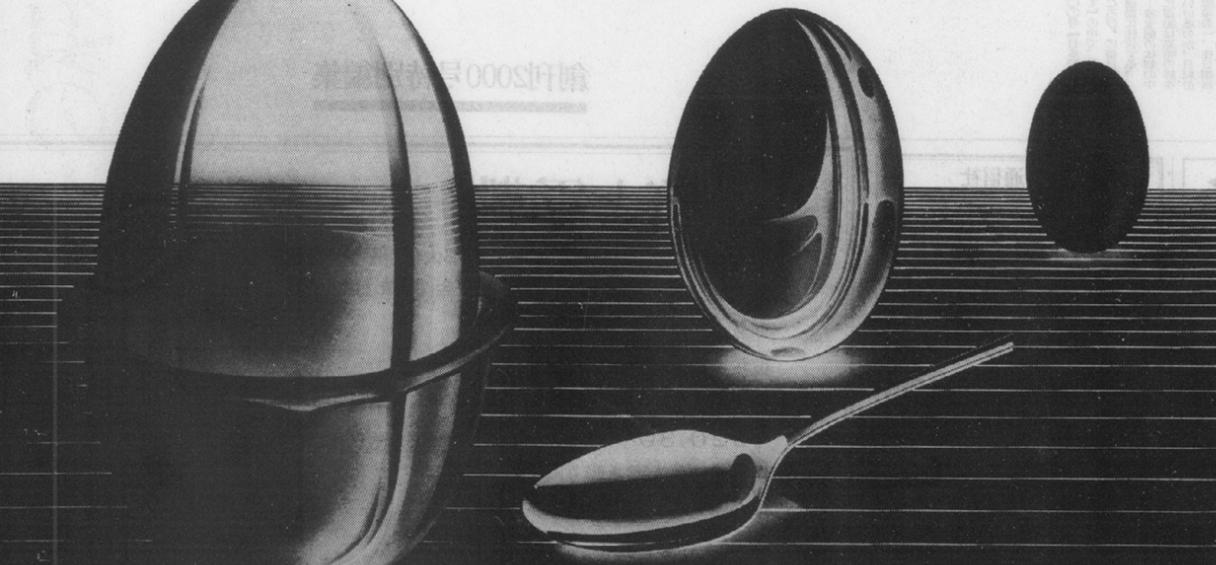
4、新しい世界のビ ジョンを示す運動

新しい世界のビジョンを示す運動。これは、運動のありかた、政治のありかた、生活のありかたを問うものである。この意味で、「新しい世界のビジョン」は、社会運動の中心をなしている。そして、この社会運動の中心をなしている「新しい世界のビジョン」は、社会運動の中心をなしている。



「反原発」運動の中心をなしている「反原発」運動は、社会運動の中心をなしている。

若しはまきかのタマゴじゃなぞ!!



卓抜な発想をしようと四苦八苦しるギョーカイ人間たち。アイデアの尽きたとき、ビジュアルとして若しはまきかにタマゴがく使われ
ます。しかし、そんな時こそ原点に立ち返り、鋭く柔軟な感覚で
発想の転換をはかることが必要です。読売新聞は同じタマゴ
でも「コロブスの卵」を発想の原点として、鋭い視点でこ
れからの時代を見つめ続けます。

読売新聞
THE YOMIURI SHIMBUN

日常生活の中から 新しい生活へ さまざま

座談会を 終えて

本々でもあつておられると、三三三氏が現在進行形でそれらの運動に携わっておられる。座談会終了後、三三三氏は座談会を振り返りながら「おのれの立場からは運動推進と発展を促していただけた。なか、佐伯氏下は運動部のインテリジェントな形でお話を伺った。

脱原発社会に向けて

— 佐伯 昌和

「脱原発社会」の提議は、1987年12月、三三三氏が現在進行形でそれらの運動に携わっておられる。座談会終了後、三三三氏は座談会を振り返りながら「おのれの立場からは運動推進と発展を促していただけた。なか、佐伯氏下は運動部のインテリジェントな形でお話を伺った。

根津幸彦



(ねず ゆきひこ) 1955・12・16生まれ。大阪府出身。京都「天皇制を問う」調査実行委員会に関わっている。天皇制の様々な問題を考える講座を開講するのみならず、全国的な反天皇制の運動と連帯をとりつつ、関西では「反天皇制のうねり」を関西連合会として、京都では「天皇制の進化を許さない」調査実行委員会に参加している。毎年8月15日には靖国公式参拝に反対する集会を催すなど「市民講座」の枠にとどまらず、積極的な行動で反天皇制の意思表示を行なっている。

4、新しい世界のヒ ジョンを示す運動

それぞれの立場から
どう生きたいかを
提示していく

「新しい世界のヒジョン」を示す運動。それぞれの立場から、どう生きたいかを提示していく。この運動は、世界中の若者たちが、自分たちの未来を、自分たちの手で描き出すための第一歩である。...

新参者、ゲイ解放運動

— 平野 広明

「ゲイ解放運動」は、近年、世界的に広がっている。日本でも、徐々にその輪が広がっている。新参者としての参加者が増え、運動の質も高まっている。...

あらゆる課題で闘う

— 根津 幸彦

「あらゆる課題で闘う」。これは、根津幸彦氏の主張である。社会の様々な課題に対して、積極的に立ち上がり、行動を起こすことが、社会の進歩につながる。...

「近頃の大学生」も 日経のテーマです。

大学考

金曜の夕刊に掲載。

いまの大学生は、本当に勉強しているか？ 繁盛する学生ビジネスのゲーム感覚は？ 毎回、様々な視点から「大学のいま」に迫り、その「これから」を探ります。

コラム「私とキャンパス」も話題。

たまたま「日経」の中身が、成長する学生生活の動向のスタイルで登場。ただ、面白ながらも、読者を楽しませる。その「面白さ」は、読者の心を捉えている。

キャンパスライフも経済だから
日本経済新聞

向 な



(ひらのひ... 豊知照出身。大阪府出身。月1に1回... 生きていく... を話し合った... は、エイズ... 宗教・アゲイ... いて考えて... ステイバル... とフェミニス... を開いた。7... するデモを... 行なった。

「新しい世界のヒジョン」を示す運動。それぞれの立場から、どう生きたいかを提示していく。この運動は、世界中の若者たちが、自分たちの未来を、自分たちの手で描き出すための第一歩である。...

特集「日本的なるものをめぐって」

反原発運動を考える

＝国家意思と衝突しうる「私的個人」へ＝



▲ピラを渡そうとする人、受け取らない警官(2月12日、四国電力本社まえ)



▲機動隊の実力行使。「赤ん坊がいるんです」の声



▲四電ビルはバリケードに囲まれていた

一九八六年四月の福島原発事故を境に、それまで各地で断片的に開かれてきた反原発運動が、新たな高まりを遂げ、全国的に大きな動きとなり、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。

A ルポ高松行動

「ひとつの具体例から」

一九八八年四月の福島原発事故を境に、それまで各地で断片的に開かれてきた反原発運動が、新たな高まりを遂げ、全国的に大きな動きとなり、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。

押し寄せる人びとのうねり

2・11、12高松行動 思い思いに、気持ちを表現

一九八八年四月の福島原発事故を境に、それまで各地で断片的に開かれてきた反原発運動が、新たな高まりを遂げ、全国的に大きな動きとなり、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。

一九八八年四月の福島原発事故を境に、それまで各地で断片的に開かれてきた反原発運動が、新たな高まりを遂げ、全国的に大きな動きとなり、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。

B 危機感と陽気な声

問題提起として

一九八八年四月の福島原発事故を境に、それまで各地で断片的に開かれてきた反原発運動が、新たな高まりを遂げ、全国的に大きな動きとなり、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。



▲路面も人々の表現の場となった



▲公園の木々には、手作りの横断幕が掲げられた

一九八八年四月の福島原発事故を境に、それまで各地で断片的に開かれてきた反原発運動が、新たな高まりを遂げ、全国的に大きな動きとなり、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。

一九八八年四月の福島原発事故を境に、それまで各地で断片的に開かれてきた反原発運動が、新たな高まりを遂げ、全国的に大きな動きとなり、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。さきほど述べたように、反原発運動の基盤を築きつつある。

「一面」の真実

中東の砲火が食卓を直撃し、為替変動が職場を揺らす。そんな時代の主婦は、「世界」に無関心ではいられません。世界への「窓」、それは、新聞。あなたの関心は、「一面」の真実から育ち始めます。

世界を茶の間へ

朝日新聞

◇◇反原発運動を考える◇◇

東京大学赤新聞

◇◇

◆◆反原発運動を考える

C 高揚する反原発運動の現代的考察

私は反原発運動の現代的考察を、現在、高揚する反原発運動の現代的考察として、この紙面に掲載する。

「反原発運動」は、1986年4月27日、ソ連・チェルノブイリにおいて最悪の原発事故が発生し、「平和」な生活を送っていた人々の頭上へ、不気味な音とともに何が破綻した——という印象を、あのニュースは今も私たちに与え続けている。それから2年。日本では反原発運動が高揚している。「反原発ニューウェーブ」とも呼ばれる反原発運動の新局面が、ではどのようなものなのか——この章では、現象面に注目する。最近の運動は、もちろんいつの時代でもそうであったように、多くの問題点をはらんでいる。けれどもこうした問題を掘り足取りするのではなく、むしろ考え深めるきっかけとするようなカタチで提起していきたい。反原発運動は、大きな可能性を秘めている。

チェルノブイリ事故が運動層を拡大

——恐怖感、大きな運動のよりどころに——



▲「生命の断食」2月6日～12日

1986年4月27日未明、ソ連・チェルノブイリにおいて最悪の原発事故が発生し、「平和」な生活を送っていた人々の頭上へ、不気味な音とともに何が破綻した——という印象を、あのニュースは今も私たちに与え続けている。それから2年。日本では反原発運動が高揚している。「反原発ニューウェーブ」とも呼ばれる反原発運動の新局面が、ではどのようなものなのか——この章では、現象面に注目する。最近の運動は、もちろんいつの時代でもそうであったように、多くの問題点をはらんでいる。けれどもこうした問題を掘り足取りするのではなく、むしろ考え深めるきっかけとするようなカタチで提起していきたい。反原発運動は、大きな可能性を秘めている。

以下、7面に続く

問われる「いのちの質」

前章では現象面に注目したが、いまや「反原発、(原発の廃絶を目指す)にとどまらず、「脱・原発、(原発を必要としないような社会のあり方、私たちの生活方を模索する)を現在の市民運動が目指している以上、「市民、と、それを支える基礎を考えたければならない。それは、飛躍をおそれなければ、天皇制の文脈の中で反原発のあり方を問う——と問い替えてもよい。こうした作業は、まさに「自己発見の旅」であり、困難な模索の軌跡というかたちでしか提示できないかも知れない。それゆえに、運動を内部から支えている人、運動の外部にいる人からの多くの批判を喰ひ、そうした批判こそ、状況変革の動きを深化させるモメントとなるだろう。

D 市民社会と原子力

運動の基底をさぐる

「市民社会」と「原子力」の関係は、これまで以上に緊迫したものになっている。市民社会の発展と原子力の利用は、互いに影響を及ぼし合っている。市民社会が原子力の利用を監視し、規制を求め、原子力の利用が市民社会の発展を促進する。このように、市民社会と原子力の関係は、互いに影響を及ぼし合っている。市民社会が原子力の利用を監視し、規制を求め、原子力の利用が市民社会の発展を促進する。このように、市民社会と原子力の関係は、互いに影響を及ぼし合っている。

私的欲望は国家意志と衝突する

——反原発が「深化」のきっかけに——

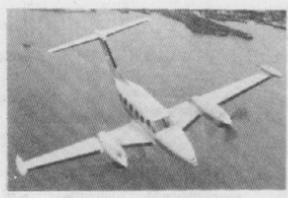
「私的欲望」と「国家意志」の衝突は、反原発運動の「深化」のきっかけになっている。市民の私的欲望は、国家の意志と衝突し、反原発運動を促進している。このように、私的欲望と国家意志の衝突は、反原発運動の「深化」のきっかけになっている。市民の私的欲望は、国家の意志と衝突し、反原発運動を促進している。このように、私的欲望と国家意志の衝突は、反原発運動の「深化」のきっかけになっている。

高揚する反原発

市民社会と原子力

★最多受賞が実証する優れた紙面★
毎日新聞は、わが国新聞界の最高の賞である日本新聞協会賞をはじめ、菊池寛賞、ボーン・上田記念国際記者賞で、いずれも他紙を抑え最多受賞の実績を誇り、言論界の担い手として来るべき21世紀の新聞づくりを着々と進めています。

新聞協会賞 13回 A紙10回・Y紙5回・S紙4回 昭和32年制定～62年度まで	菊池寛賞 10回 A紙5回・Y紙6回・S紙4回 昭和28年制定～62年度まで	ボーン・上田 記念国際記者賞 8回 A紙6回・Y紙3回・S紙5回 昭和25年制定～62年度まで
---	---	---



'92年春完成の大阪本社新社屋

来春、大阪本社が導入する新機。米国製双発ターボプロップ機で、電波高度計、気象レーダーなど多くのハイテク設備を搭載した最新鋭機です。写真電送機やFAX、6波無線機なども積んだ「空飛ぶ編集室」として西日本の空で活躍します。



来春稼働の中四国印刷センター

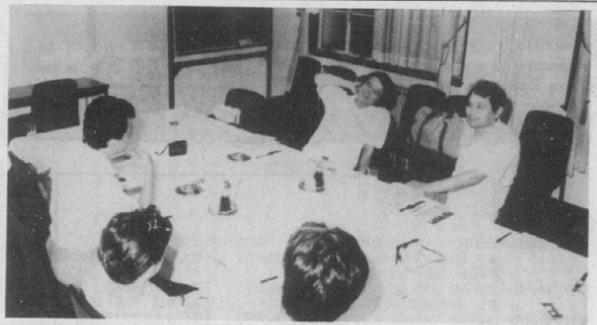


今秋稼働の摂津工場

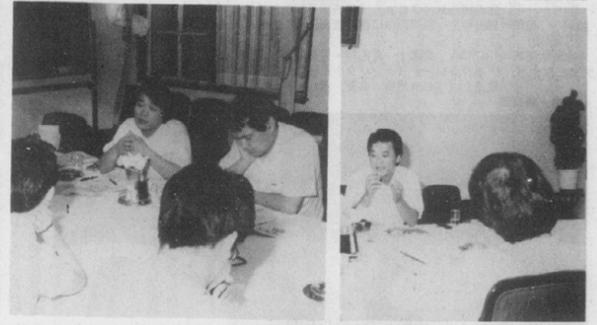
- コンピュータ編集のためのCTS(電算編集・組版システム)を在阪一般紙のトップを切って導入し今年7月に完成。
- ハイテクの粋を集めた3つのサテライト工場(堺工場、摂津工場、中四国印刷センター)を建設。最新技術の印刷、発送システムでハイテク紙面をお届けします。
- 高度情報化に対応するインテリジェントビル・大阪本社新社屋が'92年春に完成。西日本の文化・情報・国際化の拠点をめざします。

毎日新聞社 〒530 大阪市北区堂島1丁目6番20号 TEL.06(343)1121

21世紀のニュース発信基地



座談会 前頁よりつづき



自分中心主義を突き崩そう 機軸としての国際連帯運動とは 他者を媒介にして自分自身の根拠を問う作業だ



自分中心主義を突き崩そう。機軸としての国際連帯運動とは。他者を媒介にして自分自身の根拠を問う作業だ。これは、現代社会における重要な課題である。自分自身を軸として生きるのではなく、他者との関係の中で自分自身を問い直す必要がある。国際連帯運動は、このような問い直しを促進するための重要な手段である。

手紙・絵のやりとり、人の往来など 日常生活レベルでの 具体的な交流が大事

手紙・絵のやりとり、人の往来など。日常生活レベルでの具体的な交流が大事。現代社会は、デジタル技術の発達によって、物理的な距離が縮小された。しかし、人間同士のつながりや交流は、依然として重要な役割を果たしている。手紙や絵のやりとり、あるいは直接の対面交流は、お互いの感情を伝え、理解を深めるための有効な手段である。

運動を展開 していくに あたって

運動を展開していくにあたって。社会運動や政治運動は、単に目標を掲げるだけでなく、具体的な行動計画と実行力が必要である。また、参加者のモチベーションを維持し、持続可能な活動を行うことが重要である。これには、リーダーの役割や組織の構築が不可欠である。

驚異的な息の長さ 画面には30秒前の「100秒」

驚異的な息の長さ。画面には30秒前の「100秒」。これは、人間の身体能力の限界を挑戦する実験や記録の一場面である。長時間の息を止めることは、脳や臓器に大きな負担をかけるため、非常に危険な行為である。しかし、このような挑戦は、人間の潜在能力を探るための重要な手段として行われている。



共同意識は「選択」によ て常に作り変えられる

共同意識は「選択」によって常に作り変えられる。社会の共同意識は、個人の選択や行動によって形成され、変化していく。これは、社会規範や価値観の形成にも関係している。個人が自覚を持って行動することで、社会全体の共同意識を向上させることができる。

◆反原発運動を考える◆ 以下、5面より り続く



反原発運動を考える。原子力発電の安全性や環境への影響が問題視されている。反原発運動は、このような問題を提起し、社会の注目を集めるための重要な手段である。しかし、運動は単に反対を叫ぶだけでなく、代替エネルギーの推進や政策提言など、具体的な行動が必要である。

過去100年と将来100年は違う どうい人達と共感あって將 来への希望を持ちたいか考えよ

過去100年と将来100年は違う。どうい人達と共感あって將來への希望を持ちたいか考えよ。時代は大きく変化する。過去の経験や教訓を踏まえ、未来の社会をどう築いていくかを考える必要がある。共感と協力を基に、より良い未来を創出していくことが求められる。

「京都21会議」を創設

「京都21会議」を創設。京都新聞社は、京都の活性化と発展を促進するために「京都21会議」を創設した。これは、市民、企業、行政などが連携して、地域の課題を解決し、未来を共に創っていくためのプラットフォームである。

21世紀がドラマチック



京都新聞

未来につなぐ 確かな指針



民衆の意識構造

～新たな対抗軸を模索して～

伊藤 公雄氏=1961年生 大阪大学助教授(社会学)『共同研究戦友会』(田畑書店 共著)『口笛と軍靴—天皇制ファシズムの相戦』(京都大学新聞社編 社会学評論社 共著)ほか

奥野 隆介氏=1943年生 神戸市立外国語大学教授(独文学)『西ドイツ「過激派」通信』(田畑書店 共著)『現代日本における右傾化の構造』(JCA)『漂流する戦後』(インパクト出版)ほか

相川 健氏=1961年生 京都国体に伴う過剰警備を許さない人権110事務局(寄稿)

中北龍太郎氏=1947年生 弁護士 元人権・労働問題・大衆運動・人権を担当。『危険なデモクラシー』(インパクト出版 共著)『現代日本における右傾化の構造』(JCA出版 共著)ほか

司会・編集者



「危険なデモクラシー」の出版記念会。奥野隆介氏(左)、伊藤公雄氏(右)ら参加。写真：中北龍太郎氏



奥野 隆介氏

安易な西欧との比較は危険 東西間の相違の認識が必要

【本紙記者の取材】東西間の相違を認識することは、日本社会の発展にとって重要な課題である。安易な西欧との比較は危険であり、東西間の相違を正しく認識する必要がある。奥野隆介氏は、この問題について、以下のように述べている。

奥野氏は、西欧の社会主義運動が、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。また、西欧の社会主義運動は、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。

奥野氏は、西欧の社会主義運動が、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。また、西欧の社会主義運動は、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。

【本紙記者の取材】西欧の社会主義運動は、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。奥野氏は、この問題について、以下のように述べている。

奥野氏は、西欧の社会主義運動が、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。また、西欧の社会主義運動は、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。

奥野氏は、西欧の社会主義運動が、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。また、西欧の社会主義運動は、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。

【本紙記者の取材】西欧の社会主義運動は、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。奥野氏は、この問題について、以下のように述べている。

奥野氏は、西欧の社会主義運動が、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。また、西欧の社会主義運動は、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。

奥野氏は、西欧の社会主義運動が、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。また、西欧の社会主義運動は、労働者階級の利益を代表するものであるのに対し、日本の社会主義運動は、知識階級の利益を代表するものであると指摘している。

断片的な意識の欠陥

【本紙記者の取材】断片的な意識の欠陥は、日本社会の発展にとって大きな障害となっている。奥野隆介氏は、この問題について、以下のように述べている。

奥野氏は、断片的な意識の欠陥は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。また、断片的な意識の欠陥は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。

奥野氏は、断片的な意識の欠陥は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。また、断片的な意識の欠陥は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。

歯止めがないソフト支配

【本紙記者の取材】歯止めがないソフト支配は、日本社会の発展にとって大きな障害となっている。奥野隆介氏は、この問題について、以下のように述べている。

奥野氏は、歯止めがないソフト支配は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。また、歯止めがないソフト支配は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。

奥野氏は、歯止めがないソフト支配は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。また、歯止めがないソフト支配は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。

秩序化される 強権的抑圧構造

【本紙記者の取材】秩序化される強権的抑圧構造は、日本社会の発展にとって大きな障害となっている。奥野隆介氏は、この問題について、以下のように述べている。

奥野氏は、秩序化される強権的抑圧構造は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。また、秩序化される強権的抑圧構造は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。

奥野氏は、秩序化される強権的抑圧構造は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。また、秩序化される強権的抑圧構造は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。

支配体制の現状

【本紙記者の取材】支配体制の現状は、日本社会の発展にとって大きな障害となっている。奥野隆介氏は、この問題について、以下のように述べている。

奥野氏は、支配体制の現状は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。また、支配体制の現状は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。

奥野氏は、支配体制の現状は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。また、支配体制の現状は、日本社会の発展にとって大きな障害となっていると指摘している。

京都大学新聞 定期購読のお勧め

- 京都大学新聞は大正14年(1925年)「京都帝国大学新聞」として京都大学に誕生、激動の昭和史のなかを、京都大学とともに歩み続けてきました。
 - 創刊以来の京大新聞は縮刷版(全6巻)としてまとめ、昭和史を語る貴重な資料として全国の方々に好評をいただいております。
 - 京都大学新聞は、京都大学の学生、教職員全てのもので、新入生は4年間(医学部は6年間)の定期購読をお勧めします。
- ※「京大学生新聞」なる団体にご注意下さい。本誌にまぎらわしい名称を持つこの「新聞」は連絡先などから判断する通り、全く京都大学とは無関係の学外団体であり、1973年に原理研究会—勝共連合によって全国的につくりあげられたものです。

毎月2回(1日、16日)発行
通常4ページ
1部100円
1年間3,000円
2年間5,500円
4年間10,000円
6年間15,000円

(申し込みは郵便振替または現金書留で)

京都市左京区吉田 京都大学 西部構内 京都大学新聞社

新編集員・カメラマン募集

受付 月・火・木 午後1時～、西部構内当社BOXへ

京都大学新聞社

戦後民主主義とわれわれの「いま」

「戦後民主主義」とは、戦後日本社会のあり方を形作る上で重要な役割を果たした。...

「戦後民主主義」とは、戦後日本社会のあり方を形作る上で重要な役割を果たした。...



▲1960年5月19日衆院で、新安保条約を自民党が强行採決した。混乱する議場

「生きられている瞬間の間」

体験は体験しなかった人間と出会わなければならない

「戦後民主主義」とは、戦後日本社会のあり方を形作る上で重要な役割を果たした。...

いつの時代にも 手がかりは小さなものなかに

多岐多様な少数の相互批判関係

「戦後民主主義」とは、戦後日本社会のあり方を形作る上で重要な役割を果たした。...

「戦後民主主義」の内在的矛盾 戦後民主主義は、戦後日本社会のあり方を形作る上で重要な役割を果たした。...

戦後民主主義とわれわれの「いま」

寄稿

池田浩士



池田 浩士 (いけだひろし) 1963年10月10日生まれ。1983年京都大学文学部卒業。...

戦後民主主義とわれわれの「いま」

「戦後民主主義」とは、戦後日本社会のあり方を形作る上で重要な役割を果たした。...

「戦後民主主義」とは、戦後日本社会のあり方を形作る上で重要な役割を果たした。...

「戦後民主主義」とは、戦後日本社会のあり方を形作る上で重要な役割を果たした。...

京都大学新聞社 京都大学「FRESH BOOK」(九月発行) 京都大学「YEAR BOOK」(来春発行) 文章が好きな人、酒飲み、事務が好きの人、現代思想かぶれ、カメラマン、現在をフラインガーを通して見つけたい、報道写真から芸術写真まで幅広く募集。